

# 平成26年度 垂水市市民満足度調査 結果報告書

平成26年8月  
垂水市

## はじめに

平成24年度に引き続き、平成26年度垂水市市民満足度調査を行いましたところ、多くの皆様のご協力を頂き、結果報告書を取りまとめることができました。

調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

さて、本市では、平成20年度に10年間のまちづくりの指針となる「第4次垂水市総合計画」を策定しました。平成25年度からは後期基本計画に沿って、市民の幸せとまちの将来像「水清く やさしさわき出る温泉の町 垂水」の実現に向けてまちづくりに取り組んでおります。

この「市民満足度調査」もそういった視点から、第4次垂水市総合計画に定められた27の政策と1の重点プロジェクトの「重要度」と「満足度」を皆様にお聞きし、全体として市民ニーズがどこにあるかを見極めるために行ったものです。

今回の調査結果により、限られた財源を更に効果的かつ効率的に配分するために、また、各政策及び重点プロジェクトの取組みがより充実し、市民の皆様の満足度が向上するよう活用に努めていきたいと考えております。

今後とも市政運営に対しまして、ご意見ご要望をいただければ幸いに存じます。

垂水市長 尾脇 雅弥

# 目 次

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の内容	4
4. 調査結果の公表	4
II 調査結果	5
1. 回答者の属性分析	5
2. 政策別分析結果	7
■政策別一覧表	8
■基本構想「施策の大綱」別分析結果	9
■平成 24 年度及び平成 26 年度垂水市市民満足度調査との比較分析	10
■政策別個表	
(1) 共生・協働による地域づくりの推進	12
(2) 市民の多様な交流と連携の促進	13
(3) 地域を支える人材の育成	14
(4) 子育て支援体制の充実	15
(5) 学校教育の充実	16
(6) 学びあう社会の構築	17
(7) 地域文化の促進・保護・活用	18
(8) 地域保健の充実	19
(9) 高齢者保健福祉の推進	20
(10) 障害者保健福祉の推進	21
(11) 医療体制の充実	22
(12) 地域防災対策の推進	23
(13) 安心安全な地域社会の構築	24
(14) 快適な都市基盤の整備	25
(15) 循環型社会の構築	26
(16) 環境の保全	27
(17) 地域資源の活用	28
(18) 魅力ある農林業の振興	29
(19) 魅力ある水産業の振興	30
(20) 活気ある商工業の振興	31
(21) 働く環境の充実	32
(22) 魅力ある観光の振興	33
(23) 市民参画による行政経営	34
(24) 市民の目線による行政経営	35
(25) 市民の期待に応える職員の育成	36
(26) 行政改革の推進	37
(27) 財政運営の健全化	38
(28) 重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」	39
3. 今後の居住志向	40
4. 平成 26 年度市民満足度調査総括	43

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第4次垂水市総合計画後期基本計画に基づく27の政策と1の重点プロジェクトについて、「重要度」及び「満足度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主役の行政を実践するための資料とする。

また、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

## 2. 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 抽出方法	割当法（クォーター法） ※振興会ごとに性別・年齢を考慮して調査人数を設定し、対象者の人選は振興会長に一任して行う方法。
⑤ 調査方法	・無記名調査 ・政策の5段階評価及び自由記述で構成
⑥ 調査期間	平成26年6月1日（日）～6月15日（日） ※ただし、実績としては、6月30日の回収分までをデータ処理の対象とした。

### 3. 調査の内容

#### (1) 調査の対象

- ①第4次垂水市総合計画後期基本計画に掲げた27の政策及び1の重点プロジェクトに対する「重要度」及び「満足度」
- ②今後の居住志向（今後も垂水市に住み続けたいと思うか）
- ③各政策及び市政全般に対する自由意見

#### (2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とした。また、上記③については、自由記述とした。

#### (3) 分析の方法

##### ①回答者の属性分析

回答者の属性について、その割合等を集計する。

##### ②政策別分析

政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。

また、自由意見は、政策番号を指定して記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。

これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。

##### ③平成24年度及び平成26年度垂水市市民満足度調査の比較分析

平成24年度垂水市市民満足度調査及び平成26年度垂水市市民満足度調査の政策別の重要度、満足度、ニーズ値の差及び順位の変動を算出する。また相対評価及び評価エリアの変動を比較する。

##### ④第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析

同基本構想「施策の大綱」に掲げた「基本目標」及び「重点目標」別に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。

##### ⑤今後の居住志向に対する分析

回答状況及び属性ごとの集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。

##### ⑥平成26年度垂水市市民満足度調査の総括

市民満足度調査結果から見える総括として整理する。なお、従来どおり、前回調査時点における重点政策に対する検証も行う。

##### ⑦各政策及び市政全般に関する自由意見

記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、意見の原文を、別途「平成26年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

### 4. 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

## II 調査結果

### 1. 回答者の属性分析

#### (1) 調査方法

今回の市民満足度調査は、平成24年度市民満足度調査と同様に、対象者数を1,000人とし、対象者の抽出法は「割当法」を採用した。

なお、調査票の配布及び回収については、各振興会長の協力をいただいた。

#### (2) 回収数／回収率

今回の回収数（回収率）は、903件（90.3%）となり、平成24年度調査時の973件（97.3%）から70件（7%）低下した。

#### (3) 各区分の属性分析結果について

①男女別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
男	472（47.2%）	413（45.7%）
女	528（52.8%）	473（52.4%）
未記入等	-	17（1.9%）
合計	1,000（100%）	903（100%）

②年齢別：当初設定割合に比べ、若年層の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
若年層／18～39歳	194（19.4%）	128（14.2%）
壮年層／40～59歳	285（28.5%）	287（31.8%）
高年層／60歳以上	521（52.1%）	476（52.7%）
未記入等	-	12（1.3%）
合計	1,000（100%）	903（100%）

③職業別：会社員、無職の割合が高く、学生の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
会社員	-	181（20.1%）
自営業	-	102（11.3%）
公務員	-	16（1.8%）
農林水産業	-	64（7.1%）
パート・アルバイト	-	124（13.7%）
専業主婦（主夫）	-	124（13.7%）
学生	-	2（0.2%）
無職	-	241（26.7%）
その他	-	31（3.4%）
未記入等	-	18（2.0%）
合計	1,000（100%）	903（100%）

④地区別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
新城・柁原地区	162 (16.2%)	157 (17.4%)
垂水地区	490 (49.0%)	416 (46.1%)
水之上・大野地区	109 (10.9%)	106 (11.7%)
協和地区	116 (11.6%)	104 (11.5%)
牛根地区全域	123 (12.3%)	115 (12.7%)
未記入等	-	5 (0.6%)
合計	1,000 (100%)	903 (100%)

⑤居住年数別：居住年数が10年以上の回答者が約9割を占めている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
5年未満	-	47 (5.2%)
5～10年	-	45 (5.0%)
10～20年	-	95 (10.5%)
20年以上	-	703 (77.9%)
未記入等	-	13 (1.4%)
合計	1,000 (100%)	903 (100%)

## 2. 政策別分析結果

第4次垂水市総合計画後期基本計画に掲げている27の政策及び1の重点プロジェクトについて、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。

なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、平成24年度に引き続きニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度とのかい離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものとしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度・満足度とも平均値より高い項目
- ◎Ⅱ：重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- ◎Ⅲ：重要度の平均値は低いが、満足度の平均値は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度・満足度とも平均値より低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- ◎Bエリア：ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- ◎Cエリア：重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- ◎Dエリア：重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

ニーズ分析は、項目単位・属性単位の相対順位を求めている。

項目単位の数字は、同じカテゴリ内（男女別、年齢別等）におけるニーズ値の順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であるかを示したものである。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、政策番号を指定して記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。（なお、意見の詳細は、「資料集」を参照のこと）

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

### 標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1/3/5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

■政策別一覧表／重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

NO.	政策名	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価エリア
		平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差	平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差		平均値	相対順位	
1	共生・協働による地域づくりの推進	4.022	-0.206	23/28	0.82	3.119	0.023	13/28	0.77	III	0.903	23/28	D
2	市民の多様な交流と連携の促進	4.040	-0.188	22/28	0.82	3.103	0.006	14/28	0.76	III	0.937	21/28	D
3	地域を支える人材の育成	4.167	-0.061	16/28	0.83	3.025	-0.071	19/28	0.77	IV	1.142	13/28	B
4	子育て支援体制の充実	4.396	0.168	8/28	0.76	3.121	0.024	12/28	0.80	I	1.275	6/28	A
5	学校教育の充実	4.485	0.257	4/28	0.72	3.279	0.183	4/28	0.78	I	1.206	9/28	A
6	学びあう社会の構築	4.002	-0.226	24/28	0.82	3.213	0.116	9/28	0.71	III	0.790	27/28	D
7	地域文化の促進・保護・活用	3.968	-0.260	26/28	0.81	3.216	0.120	8/28	0.74	III	0.752	28/28	D
8	地域保健の充実	4.393	0.165	9/28	0.75	3.497	0.401	1/28	0.82	I	0.896	24/28	C
9	高齢者保健福祉の推進	4.458	0.230	6/28	0.71	3.306	0.209	3/28	0.86	I	1.152	11/28	A
10	障害者保健福祉の推進	4.312	0.084	10/28	0.75	3.068	-0.028	17/28	0.75	II	1.244	8/28	A
11	医療体制の充実	4.638	0.410	1/28	0.64	3.090	-0.006	15/28	0.97	II	1.548	3/28	A
12	地域防災対策の推進	4.522	0.294	2/28	0.68	3.258	0.162	5/28	0.77	I	1.264	7/28	A
13	安心安全な地域社会の構築	4.440	0.212	7/28	0.73	3.255	0.158	6/28	0.76	I	1.185	10/28	A
14	快適な都市基盤の整備	4.154	-0.074	17/28	0.83	3.039	-0.057	18/28	0.78	IV	1.115	15/28	D
15	循環型社会の構築	4.245	0.017	14/28	0.78	3.367	0.271	2/28	0.82	I	0.878	25/28	C
16	環境の保全	4.247	0.019	13/28	0.77	3.177	0.080	10/28	0.77	I	1.071	16/28	C
17	地域資源の活用	4.140	-0.088	19/28	0.81	3.176	0.079	11/28	0.72	III	0.964	20/28	D
18	魅力ある農林業の振興	4.063	-0.165	21/28	0.84	3.003	-0.093	21/28	0.65	IV	1.060	17/28	D
19	魅力ある水産業の振興	4.143	-0.085	18/28	0.83	3.236	0.140	7/28	0.73	III	0.907	22/28	D
20	活気ある商工業の振興	4.133	-0.095	20/28	0.87	2.984	-0.113	22/28	0.81	IV	1.150	12/28	B
21	働く環境の充実	4.465	0.237	5/28	0.75	2.603	-0.493	28/28	0.87	II	1.862	1/28	A
22	魅力ある観光の振興	4.211	-0.017	15/28	0.81	3.073	-0.024	16/28	0.83	IV	1.138	14/28	B
23	市民参画による行政経営	3.767	-0.461	28/28	0.87	2.942	-0.155	25/28	0.65	IV	0.825	26/28	D
24	市民の目線による行政経営	3.988	-0.239	25/28	0.88	3.020	-0.077	20/28	0.77	IV	0.969	19/28	D
25	市民の期待に応える職員の育成	4.249	0.021	12/28	0.89	2.857	-0.239	26/28	0.94	II	1.391	4/28	A
26	行政改革の推進	3.966	-0.262	27/28	0.90	2.975	-0.121	24/28	0.71	IV	0.991	18/28	D
27	財政運営の健全化	4.256	0.028	11/28	0.84	2.978	-0.119	23/28	0.76	II	1.278	5/28	A
28	人口減少対策プロジェクト	4.512	0.285	3/28	0.77	2.720	-0.377	27/28	0.87	II	1.793	2/28	A
	全体平均	4.228		-		3.096		-		-	1.132	-	-



## ■基本構想「施策の大綱」別分析結果

NO.	基本目標・ 重点目標	重要度			満足度			相対 評価	ニーズ値		評価 エリア
		平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位		平均値	相対 順位	
	全回答（全体平均）	4.228			3.096				1.132		
◎基本目標別											
1	住民による住民のためのまちをつくる	4.154	-0.074	4/5	3.154	0.057	2/5	III	1.001	5/5	D
2	安心して暮らせるまちをつくる	4.417	0.189	2/5	3.216	0.120	1/5	I	1.201	2/5	A
3	環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	4.206	-0.022	3/5	3.077	-0.019	3/5	IV	1.129	3/5	D
4	市民を大切にすまちをつくる	4.045	-0.183	5/5	2.954	-0.142	4/5	IV	1.091	4/5	D
重点	人口減少対策プロジェクト	4.512	0.285	1/5	2.720	-0.377	5/5	II	1.793	1/5	A
●重点目標別											
1-1	自立した地域をつくるために	4.076	-0.152	7/8	3.082	-0.014	5/8	IV	0.994	7/8	D
1-2	学びあえる地域をつくるために	4.213	-0.015	3/8	3.207	0.111	3/8	III	1.006	6/8	D
2-1	生きがいを持ち、健康に暮らすために	4.450	0.222	1/8	3.240	0.144	1/8	I	1.210	2/8	A
2-2	暮らしの安全を守るために	4.372	0.144	2/8	3.184	0.088	4/8	I	1.188	3/8	A
3-1	自然と共生していくために	4.211	-0.017	4/8	3.240	0.143	2/8	III	0.971	8/8	D
3-2	経済が持続発展していくために	4.203	-0.025	5/8	2.980	-0.116	6/8	IV	1.223	1/8	B
4-1	市民から信頼される行政経営のために	4.001	-0.227	8/8	2.940	-0.157	8/8	IV	1.062	5/8	D
4-2	無駄のない行政経営のために	4.111	-0.117	6/8	2.977	-0.120	7/8	IV	1.134	4/8	B

### 凡例

#### ◎相対評価

- I : 重要度・満足度とも平均値より高い項目
- II : 重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- III : 重要度の平均値は低いが、満足度の平均値は高い項目
- IV : 重要度・満足度とも平均値より低い項目

#### ◎評価エリア

- A : 重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- B : ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- C : 重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- D : 重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

## ■平成24年度及び平成26年度垂水市市民満足度調査結果の比較分析

NO.	政策名		重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価 I/A	比較 (前回調査以降の成果)
			平均値	相対 順位	平均値	相対 順位	平均値	相対 順位			
1	共生・協働による 地域づくりの推進	H26	4.022	23	3.119	13	0.903	23	III	D	重要度が低下し、満足度が上昇しているために二一ズ値が低下しており、成果が見られる。
		H24	4.050	24	3.083	15	0.967	20	IV	D	
		差	-0.028	↑1	0.036	↑2	-0.064	↓3			
2	市民の多様な交流 と連携の促進	H26	4.040	22	3.103	14	0.937	21	III	D	二一ズ値の相対順位は低い が、重要度に比べ満足度の 低下が大きく、成果が見 られない。
		H24	4.084	21	3.180	11	0.904	23	III	D	
		差	-0.044	↓1	-0.077	↓3	0.033	↑2			
3	地域を支える人材 の育成	H26	4.167	16	3.025	19	1.142	13	IV	B	重要度、満足度共に低下 しているが、重要度に比べ 満足度の低下が小さく、 一定の成果が見られる。
		H24	4.243	15	3.042	18	1.201	13	IV	B	
		差	-0.076	↓1	-0.017	↓1	-0.059	0			
4	子育て支援体制の 充実	H26	4.396	8	3.121	12	1.275	6	I	A	二一ズ値は減少しているが、 満足度はほぼ前回並であり、 成果は見られない。
		H24	4.466	6	3.124	13	1.342	6	I	A	
		差	-0.070	↓2	-0.003	↑1	-0.067	0			
5	学校教育の充実	H26	4.485	4	3.279	4	1.206	9	I	A	重要度は低下しているが、 満足度は上昇しており、 成果が見られる。
		H24	4.535	4	3.253	5	1.282	9	I	A	
		差	-0.050	0	0.026	↑1	-0.076	0			
6	学びあう社会の構 築	H26	4.002	24	3.213	9	0.790	27	III	D	重要度、満足度共に同程度 上昇し、二一ズ値の相対順 位が下がっていることから、 一定の成果が見られる。
		H24	3.966	26	3.167	12	0.799	26	III	D	
		差	0.036	↑2	0.046	↑3	-0.009	↓1			
7	地域文化の促進・ 保護・活用	H26	3.968	26	3.216	8	0.752	28	III	D	重要度はほぼ前回並みだが、 満足度が上昇し、二一ズ値 が低下していることから成 果が見られる。
		H24	3.974	25	3.181	10	0.793	27	III	D	
		差	-0.006	↓1	0.035	↑2	-0.041	↓1			
8	地域保健の充実	H26	4.393	9	3.497	1	0.896	24	I	C	満足度の相対順位が1位で あり、二一ズ値も低下して いることから、成果が見 られる。
		H24	4.454	7	3.467	1	0.987	19	I	C	
		差	-0.061	↓2	0.030	0	-0.091	↓5			
9	高齢者保健福祉の 推進	H26	4.458	6	3.306	3	1.152	11	I	A	満足度の上昇により二一ズ 値が低下しており、成果が 見られる。
		H24	4.494	5	3.258	4	1.236	12	I	A	
		差	-0.036	↓1	0.048	↑1	-0.084	↑1			
10	障害者保健福祉の 推進	H26	4.312	10	3.068	17	1.244	8	II	A	満足度は前回同様の数値で あり、二一ズ値が低下して いることから、成果が見 られる。
		H24	4.341	11	3.068	16	1.273	10	II	A	
		差	-0.029	↑1	0.000	↓1	-0.029	↑2			
11	医療体制の充実	H26	4.638	1	3.090	15	1.548	3	II	A	重要度の相対順位は1位だ が満足度は低く、相対評価 もI→IIに下がっており、 成果が見られない。
		H24	4.663	1	3.113	14	1.550	3	I	A	
		差	-0.025	0	-0.023	↓1	-0.002	0			
12	地域防災対策の推 進	H26	4.522	2	3.258	5	1.264	7	I	A	重要度が低下し、満足度が 上昇しているために二一ズ 値が低下しており、成果が 見られる。
		H24	4.633	2	3.226	6	1.407	5	I	A	
		差	-0.111	0	0.032	↑1	-0.143	↓2			
13	安心安全な地域社 会の構築	H26	4.440	7	3.255	6	1.185	10	I	A	重要度はほぼ前回並だが、 満足度が上昇しており、 成果が見られる。
		H24	4.438	8	3.199	8	1.239	11	I	A	
		差	0.002	↑1	0.056	↑2	-0.054	↑1			
14	快適な都市基盤の 整備	H26	4.154	17	3.039	18	1.115	15	IV	D	重要度はほぼ前回並だが、 満足度が上昇しているた めに二一ズ値が低下して おり、成果が見られる。
		H24	4.160	19	3.011	19	1.149	15	IV	D	
		差	-0.006	↑2	0.028	↑1	-0.034	0			
15	循環型社会の構築	H26	4.245	14	3.367	2	0.878	25	I	C	満足度の数値、相対順位が 上昇し、二一ズ値が低下 しており、成果が見られ る。
		H24	4.262	14	3.295	3	0.967	20	III	D	
		差	-0.017	0	0.072	↑1	-0.089	↓5			
16	環境の保全	H26	4.247	13	3.177	10	1.071	16	I	C	重要度、満足度共に低下 しているが、二一ズ値の 相対順位は変わらず、大 きな変化は見られない。
		H24	4.291	12	3.194	9	1.097	16	I	C	
		差	-0.044	↓1	-0.017	↓1	-0.026	0			

NO.	政策名		重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 I/A	比較 (前回調査以降の成果)
			平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位			
17	地域資源の活用	H26	4.140	19	3.176	11	0.964	20	III	D	重要度に比べ満足度の低下が大きく、ニーズ値が上昇しており、成果が見られない。
		H24	4.160	19	3.225	7	0.935	22	III	D	
		差	-0.020	0	-0.049	↓4	0.029	↑2			
18	魅力ある農林業の振興	H26	4.063	21	3.003	21	1.060	17	IV	D	重要度が低下し満足度は上昇しているが、ニーズ値の相対順位は変わらず、大きな変化は見られない。
		H24	4.082	22	2.996	20	1.086	17	IV	D	
		差	-0.019	↑1	0.007	↓1	-0.026	0			
19	魅力ある水産業の振興	H26	4.143	18	3.236	7	0.907	22	III	D	重要度、満足度共に低下しているが、満足度の低下幅が大きく、成果が見られない。
		H24	4.189	17	3.324	2	0.865	25	III	D	
		差	-0.046	↓1	-0.088	↓5	0.042	↑3			
20	活気ある商工業の振興	H26	4.133	20	2.984	22	1.150	12	IV	B	重要度に比べ満足度の低下幅は小さいものの、ニーズ値の相対順位が上昇しており、成果が見られない。
		H24	4.190	16	2.992	21	1.198	14	IV	B	
		差	-0.057	↓4	-0.008	↓1	-0.048	↑2			
21	働く環境の充実	H26	4.465	5	2.603	28	1.862	1	II	A	満足度が上昇し、一定の成果が見られるものの、全政策中最も相対順位が低く、改善の必要がある。
		H24	4.579	3	2.467	27	2.112	1	II	A	
		差	-0.114	↓2	0.136	↓1	-0.250	0			
22	魅力ある観光の振興	H26	4.211	15	3.073	16	1.138	14	IV	B	重要度が低下し、満足度が大きく上昇していることから、成果が見られる。
		H24	4.269	13	2.978	22	1.291	8	IV	B	
		差	-0.058	↓2	0.095	↑6	-0.153	↓6			
23	市民参画による行政経営	H26	3.767	28	2.942	25	0.825	26	IV	D	重要度は低下し、満足度が上昇しており、成果が見られる。
		H24	3.786	27	2.893	24	0.893	24	IV	D	
		差	-0.019	↓1	0.049	↓1	-0.068	↓2			
24	市民の目線による行政経営	H26	3.988	25	3.020	20	0.969	19	IV	D	重要度、満足度共に低下しているが、ニーズ値も低下しており、一定の成果が見られる。
		H24	4.052	23	3.059	17	0.993	18	IV	D	
		差	-0.064	↓2	-0.039	↓3	-0.024	↓1			
25	市民の期待に応える職員の育成	H26	4.249	12	2.857	26	1.391	4	II	A	重要度は低下し、満足度は上昇して一定の成果が見られるが、満足度の相対順位は依然低く、改善の必要がある。
		H24	4.415	10	2.711	26	1.704	2	II	A	
		差	-0.166	↓2	0.146	0	-0.313	↓2			
26	行政改革の推進	H26	3.966	27	2.975	24	0.991	18	IV	D	重要度は低下し、満足度が上昇し、ニーズ値の相対順位も大きく低下しており、成果が見られる。
		H24	4.166	18	2.860	25	1.306	7	IV	B	
		差	-0.200	↓9	0.115	↑1	-0.315	↓11			
27	財政運営の健全化	H26	4.256	11	2.978	23	1.278	5	II	A	重要度は低下、満足度が上昇しており一定の成果が見られるが、満足度の相対順位が低く、改善の必要がある。
		H24	4.435	9	2.938	23	1.497	4	II	A	
		差	-0.179	↓2	0.040	0	-0.219	↓1			
重点	人口減少対策プロジェクト	H26	4.512	3	2.720	27	1.793	2	II	A	今回調査からの新規項目であるため比較不可。
		H24	-	-	-	-	-	-	-	-	
		差	-	-	-	-	-	-	-	-	
	前回比較 (平均) ※H26分は重点プロジェクトを含まない平均値。	H26	4.217	-	3.110	-	1.107	-	-	-	
		H24	4.272	-	3.086	-	1.186	-	-	-	
		差	-0.055	-	0.024	-	-0.079	-	-	-	
	全体平均	H26	4.228	-	3.096	-	1.132	-	-	-	

■政策別分析結果

1. 共生・協働による地域づくりの推進

【政策の概要】

目標の考え方	共生・協働の社会を実現するために、全ての市民が手を取り合い、いきいきと暮らせる仕組みをつくり、地域住民の手により目指すべき地域の将来像を考える必要があります。個人と地域と行政とのそれぞれの役割を自覚しながら、地域住民による主体的な地域活動が行えるような取り組みを進めます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の人権問題に対する意識が深まっています</li> <li>●女性も男性も暮らしやすい社会になっています</li> <li>●地域や団体、行政、議会の役割が明確になっています</li> <li>●地域住民と行政とが課題を共有し、協働して取り組んでいます</li> </ul>	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権教育・啓発活動の推進</li> <li>●協働社会の仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女共同参画社会の形成</li> <li>●地域活動支援</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.022	0.82	23/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.119	0.77	13/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		0.903	—	23/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	24			
	女	2	24			
年齢別	若年層	3	24			
	壮年層	2	25			
	高年層	1	22			
職業別	会社員	9	25			
	自営業	2	24			
	公務員	1	18			
	農林水産業	4	25			
	パート	8	22			
	専業主婦	7	19			
	学生	3	1			
	無職	6	21			
	その他	5	21			
地区別	新城・柘原地区	5	26			
	垂水地区	2	24			
	水之上・大野地区	3	20			
	協和地区	4	25			
	牛根地区全域	1	19			
居住年数別	5年未満	1	17			
	5～10年	2	21			
	10～20年	4	24			
	20年以上	3	23			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。(学生は回答人数が少ない。)					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 5件／うち課題 2件・要望 2件・提言 1件・評価 0件・その他 0件</li> <li>●キーワード：公民館・振興会活動の充実、地域資源の活用推進</li> </ul>					
平成24年度実施分との比較	●重要度が低下し、満足度が上昇しているためにニーズ値が低下しており、成果が見られる。					
評価結果	●評価エリアがDであり、改善の必要性は低い政策となっているが、本政策は市の基本理念であるため、今後さらに満足度を高める取り組みが必要である。					

■政策別分析結果

2. 市民の多様な交流と連携の促進

【政策の概要】

目標の考え方	市民や各種団体、行政が持つ情報はそれぞれに価値があり、その情報がお互いで共有できれば、様々な課題の解決や地域の活性化につながることから、多様な交流と連携に対する取り組みを進めます。特に防災対策、高齢者の生活支援、生活環境の保全、子育て支援などに対して、地域や団体間の交流を深め、支えあい、連携しあう取り組みを進めます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の課題が地域内で共有され、地域で解決できる力があります</li> <li>●地域内交流が進み、支えあいができています</li> </ul>	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民参加の意識向上</li> <li>●公民館活動の充実</li> </ul>	●団体間ネットワークの充実

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.040	0.82	22/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.103	0.76	14/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		0.937	—	21/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	21			
	女	2	19			
年齢別	若年層	3	19			
	壮年層	1	20			
	高年層	2	21			
職業別	会社員	6	20			
	自営業	3	19			
	公務員	1	9			
	農林水産業	4	22			
	パート	8	25			
	専業主婦	7	18			
	学生	9	22			
	無職	5	20			
その他	2	12				
地区別	新城・柘原地区	4	19			
	垂水地区	2	19			
	水之上・大野地区	5	26			
	協和地区	3	21			
	牛根地区全域	1	21			
居住年数別	5年未満	1	15			
	5～10年	2	16			
	10～20年	4	22			
	20年以上	3	22			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●公務員、その他の職業を除く各属性において、ニーズが低い傾向にある。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 4件 / うち課題 1件・要望 1件・提言 2件・評価 0件・その他 0件</li> <li>●キーワード：世代間交流推進、地域と行政との関わり方</li> </ul>					
平成24年度実施分との比較	●ニーズ値の相対順位は低い、重要度に比べ満足度の低下が大きく、成果が見られない。					
評価結果	●評価エリアがDであり、改善の必要性が低い政策となっているが、前回調査時より満足度が低下しているため、あり方を検討する必要がある。					

■政策別分析結果

3. 地域を支える人材の育成

【政策の概要】

目標の考え方	地域活動に気軽に参加できる環境づくりと、活動の中心となる地域活力の向上に必要な人材の発掘・育成に取り組みます。また、特色のある地域づくりのために、郷土をより深く学ぶ取り組みを進めます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一人ひとりがふるさとの良さを知り、郷土への愛着が育まれています</li> <li>●地域活動における個々の役割が発揮され、多くの市民が達成感を得ています</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさとを学ぶ学習機会の充実</li> <li>●人材の発掘、確保</li> <li>●リーダー育成</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.167	0.83	16/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.025	0.77	19/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		1.142	—	13/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	B	現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	10			
	女	2	12			
年齢別	若年層	3	16			
	壮年層	2	14			
	高年層	1	9			
職業別	会社員	6	14			
	自営業	4	15			
	公務員	7	18			
	農林水産業	3	13			
	パート	5	14			
	専業主婦	8	11			
	学生	9	1			
	無職	2	5			
	その他	1	6			
地区別	新城・柁原地区	5	10			
	垂水地区	3	14			
	水之上・大野地区	4	15			
	協和地区	2	13			
	牛根地区全域	1	9			
居住年数別	5年未満	2	15			
	5～10年	1	10			
	10～20年	4	13			
	20年以上	3	12			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性においてニーズが高い傾向にあるが、特に高年層を含む無職の属性のニーズが高くなっている。また、牛根地区においてもニーズが高くなっている。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 4件 / うち課題 0件・要望 1件・提言 2件・評価 0件・その他 1件</li> <li>●キーワード：リーダー・ボランティア育成の重要性</li> </ul>					
平成24年度実施分との比較	●重要度、満足度共に低下しているが、重要度に比べ満足度の低下が小さく、一定の成果が見られる。					
評価結果	●評価エリアはBとなっているため、現在の満足度を維持し、あり方を検討する必要がある、					

■政策別分析結果

4. 子育て支援体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の恵まれた自然や歴史・文化の中で、心身ともに健全な子どもとして育つため、そして心豊かな人間性を持った次世代の親として育つためには、子どもだけでなく、親や家族とともに育っていきける環境づくりを進めるとともに、地域の果たす役割も大きいという認識のもと、世代間交流を交えながら地域や職場など社会が一体となって子育てを支援していくよう取り組みます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭、学校、地域、職場の連携が強化され、地域全体で子育てを支援しています</li> <li>●安心して子どもを産み、育てる環境になっています</li> </ul>	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て環境の整備、支援</li> <li>●青少年の健全育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●母子保健の推進</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.396	0.76	8/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.121	0.80	12/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.275	—	6/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	6		
	女	2	6		
年齢別	若年層	1	4		
	壮年層	2	7		
	高年層	3	6		
職業別	会社員	6	9		
	自営業	3	7		
	公務員	2	6		
	農林水産業	5	8		
	パート	4	5		
	専業主婦	7	7		
	学生	9	13		
	無職	8	7		
その他	1	4			
地区別	新城・柘原地区	5	6		
	垂水地区	3	6		
	水之上・大野地区	2	5		
	協和地区	4	9		
居住年数別	5年未満	1	4		
	5～10年	2	7		
	10～20年	4	12		
	20年以上	3	5		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●全ての属性でニーズが高くなっている。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 14件 / うち課題 5件・要望 5件・提言 2件・評価 1件・その他 1件</li> <li>●キーワード：医療（産婦人科、小児科等）・保育の充実</li> </ul>			
平成24年度実施分との比較		●ニーズ値は減少しているが、満足度はほぼ前回並であり、成果は見られない。			
評価結果		●満足度がほぼ前回並であり、依然評価エリアはAであるため、更なる改善に取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

5. 学校教育の充実

【政策の概要】

目標の考え方	自ら学び自ら考える、たくましく「生きる力」を備えた、子どもを育てるために、教職員一人一人の資質の向上を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進します。その中で、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について地域の人材を活かしながら体験を通して学習し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」を育成するとともに、垂水の次代を担う子どもたちが生き生きと学べる良好な教育環境の確保に取り組みます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが夢を持ち、いきいきと学んでいます</li> <li>●施設・設備が整備され、良好な教育環境が保たれています</li> <li>●子どもたちの活動の場の共有化が図られ、健やかに成長しています</li> </ul>	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生きる力を育む質の高い教育の推進</li> <li>●教育環境整備の推進</li> <li>●垂水高校振興支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭・地域と連携した教育の推進</li> <li>●幼・保・小・中・高の各成長ステージに応じた連携の推進</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.485	0.72	4/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.279	0.78	4/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.206	—	9/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	11		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">C</div> 現在の水準を維持する項目 <span style="margin-left: 100px;">ニーズ値平均 1.132</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">A</div> 優先して改善を要する項目
	女	2	9		
年齢別	若年層	3	10		
	壮年層	1	6		
	高年層	2	11		
職業別	会社員	2	7		
	自営業	1	11		
	公務員	3	14		
	農林水産業	6	12		
	パート	4	11		
	専業主婦	7	9		
	学生	9	1		
	無職	8	13		
	その他	5	10		
地区別	新城・柁原地区	5	11		
	垂水地区	2	9		
	水之上・大野地区	1	6		
	協和地区	3	8		
居住年数別	5年未満	1	10		
	5～10年	2	13		
	10～20年	4	9		
	20年以上	3	9		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●各属性において、他の政策よりニーズが高くなっている。			
自由意見		●記入件数 11件／うち課題 6件・要望 2件・提言 3件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：垂水高校振興の推進、学校と地域・行政との連携			
平成24年度実施分との比較		●重要度は低下しているが、満足度は上昇しており、成果が見られる。			
評価結果		●満足度が上昇し成果が見られるが、評価エリアはAであるため、更なる改善に努める必要がある。			



■政策別分析結果

6. 学びあう社会の構築

【政策の概要】

目標の考え方	多様化・高度化する学習ニーズに対応し、市民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現など、学びあう社会づくりに取り組みます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多くの人が学びあいの場に参加し、学びの成果を暮らしに生かしています</li> <li>●子どもからお年寄りまで多くの市民が、地域でスポーツに親しみ交流の輪が広がっています</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習の推進</li> <li>●スポーツ・レクリエーション活動の推進</li> <li>●社会・生活・自然体験事業の推進</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.002	0.82	24/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.213	0.71	9/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		0.790	—	27/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	27			
	女	2	26			
年齢別	若年層	3	27			
	壮年層	2	27			
	高年層	1	27			
職業別	会社員	6	26			
	自営業	3	28			
	公務員	1	23			
	農林水産業	4	28			
	パート	8	27			
	専業主婦	5	23			
	学生	9	13			
	無職	7	28			
	その他	2	23			
地区別	新城・柘原地区	4	27			
	垂水地区	3	27			
	水之上・大野地区	5	27			
	協和地区	1	26			
	牛根地区全域	2	26			
居住年数別	5年未満	1	25			
	5～10年	2	26			
	10～20年	4	28			
	20年以上	3	27			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低くなっている。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 10件 / うち課題 4件・要望 4件・提言 1件・評価 0件・その他 1件</li> <li>●キーワード：参加しやすい市民講座の体制づくり、一人ひとりの意識づくり</li> </ul>					
平成24年度実施分との比較	●重要度、満足度共に同程度上昇し、ニーズ値の相対順位が下がっていることから、一定の成果が見られる。					
評価結果	●一定の成果が見られ、評価エリアもDであることから、現在の取り組みを継続していく必要がある。					

■政策別分析結果

7. 地域文化の促進・保護・活用

【政策の概要】

目標の考え方	古くから伝わる歴史民俗文化財や埋蔵文化財、また、郷土の偉人が残した功績は市民共有の財産であり歴史教育の教材です。これらを保存・活用・顕彰することや文化団体の支援、芸術家の育成、良質の芸術文化を提供するなど多様な文化活動を促進することにより郷土愛を育み、ゆとりと活力のある豊かな地域社会の実現を目指します。
目指すイメージ	●城下町として古い町並みや史跡等を多く残し、郷土芸能や年中行事が行われ、各地域では芸術文化活動が展開されています
施策の方向	●歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用の推進      ●芸術文化活動の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		3.968	0.81	26/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.216	0.74	8/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		0.752	—	28/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	28			
	女	2	28			
年齢別	若年層	3	28			
	壮年層	2	28			
	高年層	1	28			
職業別	会社員	7	28			
	自営業	3	27			
	公務員	8	28			
	農林水産業	2	27			
	パート	5	28			
	専業主婦	6	28			
	学生	9	22			
	無職	4	26			
	その他	1	17			
地区別	新城・柘原地区	4	28			
	垂水地区	2	28			
	水之上・大野地区	1	22			
	協和地区	5	28			
	牛根地区全域	3	27			
居住年数別	5年未満	2	28			
	5～10年	1	19			
	10～20年	4	27			
	20年以上	3	28			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。					
自由意見	●記入件数 9件／うち課題 2件・要望 1件・提言 4件・評価 1件・その他 1件 ●キーワード：文化財の活用促進、市内外への情報発信					
平成24年度実施分との比較	●重要度はほぼ前回並みだが、満足度が上昇し、ニーズ値が低下していることから成果が見られる。					
評価結果	●成果が見られ、評価エリアもDであることから、現在の取り組みを継続していく必要がある。					

■政策別分析結果

8. 地域保健の充実

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して暮らしていくために、生涯を通じた生活習慣病予防やがん予防など、保健事業の推進と保健医療活動の充実に取り組みます。また、生きがいを持つことが健康づくりにつながることから、地域における健康づくり活動や生きがいづくり支援を支えるため、地域包括ケア体制整備を図り、広く市民の健康増進に努めます。
目指すイメージ	●一人ひとりが生きがいを持ち、充実した生活を送っています
施策の方向	●生きがいを支える環境整備 ●乳幼児からの生活習慣病予防 ●食育の体系化と推進 ●心の健康づくり ●運動を活用した健康づくり

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.393	0.75	9/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.497	0.82	1/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		0.896	—	24/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	22		
	女	2	25		
年齢別	若年層	2	17		
	壮年層	1	22		
	高年層	3	26		
職業別	会社員	5	16		
	自営業	4	25		
	公務員	1	15		
	農林水産業	2	23		
	パート	6	19		
	専業主婦	9	26		
	学生	3	1		
	無職	8	27		
	その他	7	22		
地区別	新城・柘原地区	5	24		
	垂水地区	1	22		
	水之上・大野地区	4	24		
	協和地区	3	23		
居住年数別	5年未満	1	19		
	5～10年	2	23		
	10～20年	3	19		
	20年以上	4	25		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●職業別で見ると、会社員、公務員のニーズは比較的高いものの、全体的に他の政策よりニーズが低い傾向にある。				
自由意見	●記入件数 5件／うち課題 1件・要望 4件・提言 0件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：プール等の健康増進施設の充実、検診・予防接種受診方法の改善				
平成24年度実施分との比較	●満足度の相対順位が1位であり、ニーズ値も低下していることから、成果が見られる。				
評価結果	●他政策と比較して満足度が高い政策であり、現在の水準を維持していく必要がある。				

■政策別分析結果

9. 高齢者保健福祉の推進

【政策の概要】

目標の考え方	高齢者の充実した生活の創造を目指し、生涯現役社会づくりの推進や生活環境の向上に努めるとともに、総合相談体制を充実し、関係機関と連携を密にしながら認知症予防や権利擁護など推進します。また、地域に密着した介護サービスの基盤整備を図り、住み慣れた地域で高齢者が尊厳を持ち、安心して暮らし続けるための地域包括ケア体制づくりに努めます。
目指すイメージ	●高齢者への多面的な支援体制が充実し、住み慣れた地域の中で安心して生活できています
施策の方向	●介護予防の推進 ●高齢者支援体制の整備 ●介護サービスの充実

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.458	0.71	6/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.306	0.86	3/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.152	—	11/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	14		
	女	2	11		
年齢別	若年層	2	11		
	壮年層	1	12		
	高年層	3	16		
職業別	会社員	4	10		
	自営業	7	20		
	公務員	1	6		
	農林水産業	5	15		
	パート	2	8		
	専業主婦	8	16		
	学生	9	13		
	無職	6	14		
	その他	3	9		
地区別	新城・柘原地区	4	9		
	垂水地区	2	12		
	水之上・大野地区	5	16		
	協和地区	3	14		
	牛根地区全域	1	12		
居住年数別	5年未満	1	7		
	5～10年	4	16		
	10～20年	2	5		
	20年以上	3	14		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全体的に他の政策よりニーズが高くなっているが、職業別で見ると、務め仕事の属性では特にニーズが高い傾向にある。				
自由意見	●記入件数 9件／うち課題 3件・要望 4件・提言 1件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：介護職従事者の確保・育成、平等に介護を受けるためのネットワーク等の構築				
平成24年度実施分との比較	●満足度の上昇によりニーズ値が低下しており、成果が見られる。				
評価結果	●満足度が上昇し、成果が見られるものの、評価エリアがAであるため、更なる改善に取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

10. 障害者保健福祉の推進

【政策の概要】

目標の考え方	障害者があらゆる分野での社会参加が実現出来ることを基本とし、「障害の有無にかかわらず、全ての人が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会（ノーマライゼーション）」を実現するため、障害者の身体的・精神的・社会的な適応能力を回復することにとどまらず、障害者がそれぞれの年代の生活段階において必要な日常生活又は社会生活を営むため、地域包括ケア体制整備を図り、全ての市民が生き生きとした生活を送り、共に生き、支え合う社会づくりに取り組みます。
目指すイメージ	●障害のある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしています
施策の方向	●日常生活及び社会生活の支援

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.312	0.75	10/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.068	0.75	17/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.244	—	8/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	12		
	女	1	5		
年齢別	若年層	1	5		
	壮年層	2	10		
	高年層	3	8		
職業別	会社員	5	8		
	自営業	2	8		
	公務員	1	6		
	農林水産業	4	9		
	パート	3	9		
	専業主婦	6	6		
	学生	9	13		
	無職	7	8		
	その他	8	15		
地区別	新城・柘原地区	5	13		
	垂水地区	3	5		
	水之上・大野地区	4	10		
	協和地区	2	6		
居住年数別	5年未満	1	6		
	5～10年	3	12		
	10～20年	4	10		
	20年以上	2	8		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが高くなっている。				
自由意見	●記入件数 2件／うち課題 1件・要望 1件・提言 0件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：障害者（児）を取り巻く生活環境の改善				
平成24年度実施分との比較	●満足度は前回同様の数値であり、ニーズ値が低下していることから、成果が見られる。				
評価結果	●満足度の水準を維持しているが、さらに満足度を上昇させるための取り組みを行う必要がある。				

■政策別分析結果

11. 医療体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	地域包括ケア体制を整備することにより、市民が安心して医療を受けることができるよう、垂水中央病院を核として、医師会や周辺市町との連携を図り、地域医療の確保と医療水準の向上及びサービスの提供を行う体制づくりに取り組みます。また、地域住民に対する24時間体制の医療を提供すること及び保健・医療・福祉の連携により地域住民の健康増進に取り組みます。	
目指すイメージ	●地域医療体制が充実され、誰もが安心して医療サービスを受けています	
施策の方向	●地域医療体制の充実と啓発 ●受診モラルの啓発	●救急医療体制の充実

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.638	0.64	1/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.090	0.97	15/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.548	—	3/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	3		
	女	1	3		
年齢別	若年層	1	3		
	壮年層	2	3		
	高年層	3	4		
職業別	会社員	2	3		
	自営業	4	4		
	公務員	3	3		
	農林水産業	6	5		
	パート	1	2		
	専業主婦	5	3		
	学生	9	13		
	無職	8	6		
その他	7	5			
地区別	新城・柁原地区	5	5		
	垂水地区	3	3		
	水之上・大野地区	2	3		
	協和地区	1	3		
居住年数別	5年未満	1	2		
	5～10年	2	4		
	10～20年	4	3		
	20年以上	3	3		

特記事項 (ニーズ分析結果)

●全ての属性においてニーズが高くなっている。

自由意見

●記入件数 16件 / うち課題 7件・要望 5件・提言 2件・評価 0件・その他 2件

●キーワード：休日・夜間診療の充実、垂水中央病院のあり方、小児科等の設置

平成24年度実施分との比較

●重要度の相対順位は1位だが満足度は低く、相対評価もⅠ→Ⅱに下がっており、成果が見られない。

評価結果

●重要度が最も高くニーズも高いが、成果が見られないため優先して改善を行う必要がある。

■政策別分析結果

12. 地域防災対策の推進

【政策の概要】

目標の考え方	自然災害から市民の生命と財産を守るため、垂水市地域防災計画に基づき、災害の予防、応急対策、復旧・復興対策を進めます。また、大規模な災害に対処するためには、防災関係機関による「公助」だけでなく、自分の身は自分で守る「自助」、地域のことは地域で守る「共助」が重要なことから、地域の防災力の向上に努めるとともに、防災等の情報共有を図るため、情報の収集や伝達、また、災害時要援護者に配慮した対策に取り組みます。	
目指すイメージ	●市民の防災に対する理解が深まり、災害に対する備えや心構えができています	
施策の方向	●防災体制の整備充実 ●防災意識の向上・防災教育の充実	●災害に強い都市基盤の整備 ●自主防災組織の育成と連携の強化

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.522	0.68	2/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.258	0.77	5/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.264	—	7/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	7		
	女	2	7		
年齢別	若年層	3	11		
	壮年層	1	5		
	高年層	2	7		
職業別	会社員	3	6		
	自営業	1	6		
	公務員	8	17		
	農林水産業	4	10		
	パート	2	4		
	専業主婦	7	8		
	学生	9	22		
	無職	6	12		
その他	5	11			
地区別	新城・柁原地区	5	7		
	垂水地区	3	8		
	水之上・大野地区	4	9		
	協和地区	2	5		
居住年数別	牛根地区全域	1	4		
	5年未満	1	8		
	5～10年	3	11		
	10～20年	4	6		
	20年以上	2	7		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●ほぼ全ての属性においてニーズが高い傾向にある。			
自由意見		●記入件数 12件／うち課題 2件・要望 5件・提言 4件・評価 1件・その他 0件 ●キーワード：防災関連情報・具体的な対策情報の発信、自助・共助の重要性			
平成24年度実施分との比較		●重要度が低下し、満足度が上昇しているためにニーズ値が低下しており、成果が見られる。			
評価結果		●満足度は上昇しているが、評価エリアがAであり、より高い成果を得るように努める必要がある。			

■政策別分析結果

13. 安心安全な地域社会の構築

【政策の概要】

目標の考え方	犯罪のない、安全で安心して生活できるまちづくりを進めるために、協働による地域ぐるみの防犯活動の推進、消防機能や各種市民相談体制の充実など、安全で安心して生活できるまちづくりに取り組みます。特に、高齢者に関わる犯罪や事故を未然に防止するため、高齢者を取り巻く社会環境の整備などに取り組みます。
目指すイメージ	●安心して日常生活をおくることができます
施策の方向	●地域安全体制の強化 ●市民生活における安全の確保 ●消防力の整備

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.440	0.73	7/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.255	0.76	6/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.185	—	10/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	13		
	女	2	10		
年齢別	若年層	2	8		
	壮年層	1	9		
	高年層	3	14		
職業別	会社員	7	12		
	自営業	4	13		
	公務員	1	4		
	農林水産業	5	14		
	パート	2	7		
	専業主婦	8	12		
	学生	9	13		
	無職	6	10		
	その他	3	8		
地区別	新城・柘原地区	5	8		
	垂水地区	2	10		
	水之上・大野地区	4	12		
	協和地区	1	10		
	牛根地区全域	3	16		
居住年数別	5年未満	2	5		
	5～10年	1	5		
	10～20年	3	6		
	20年以上	4	13		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性においてニーズが高い傾向にあり、年齢別で見ると、若い年齢層程他の政策よりニーズが高くなっている。				
自由意見	●記入件数 9件／うち課題 3件・要望 3件・提言 2件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：交通安全対策の充実、危険箇所への防犯灯等の設置				
平成24年度実施分との比較	●重要度はほぼ前回並だが、満足度が上昇しており、成果が見られる。				
評価結果	●満足度は上昇しているが、ニーズ値が高く評価エリアがAであるため、更なる改善に取り組む必要がある。				



■政策別分析結果

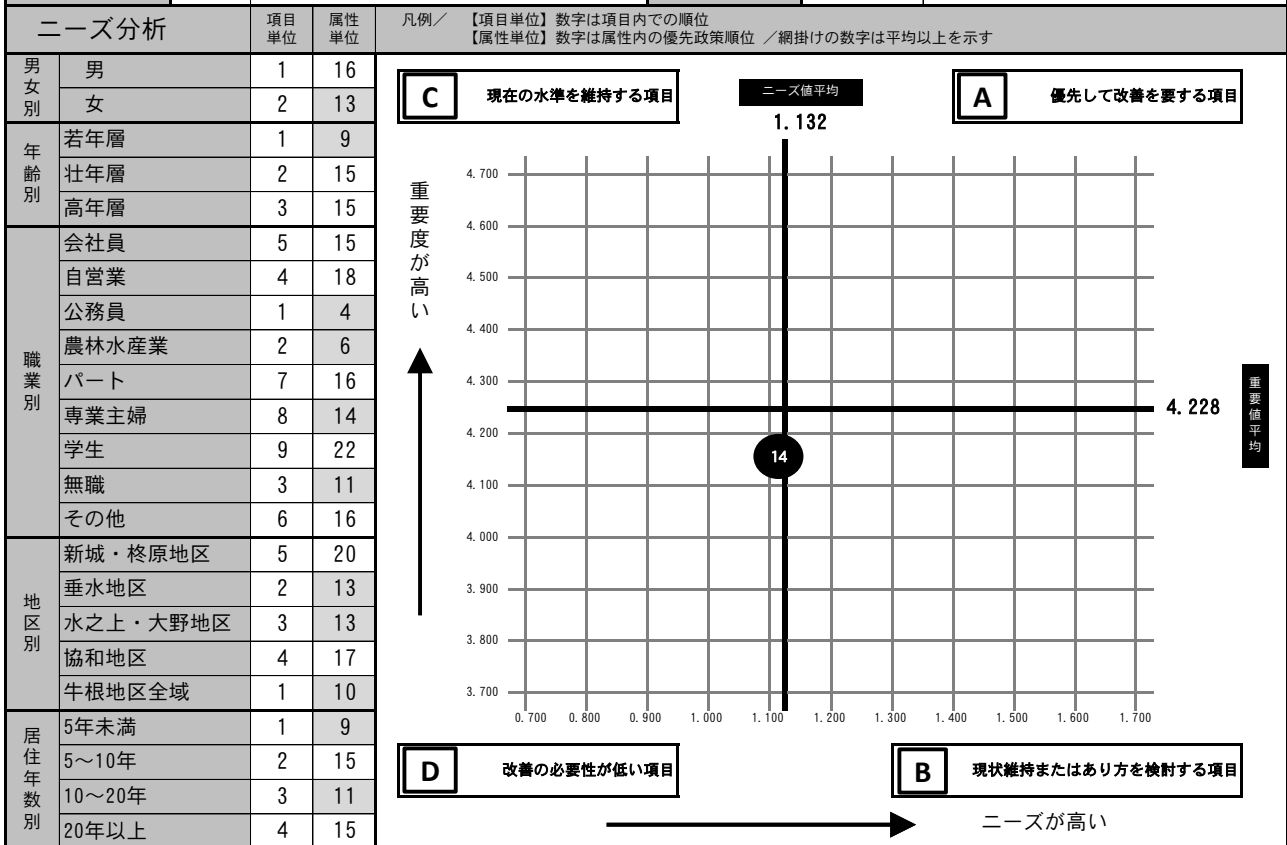
14. 快適な都市基盤の整備

【政策の概要】

目標の考え方	道路や住宅、公園などの都市基盤は、市民が快適な生活を営むとともに、経済活動や交流の活性化など、都市の発展の礎となる重要な役割を果たすものです。都市の発展の基本となる道路・交通体系などの基盤整備と市民生活に密着した居住環境の整備を進める必要があります。このような都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、地域振興計画等も参考にしながら都市計画マスタープランを策定し、効率的・計画的な都市基盤の整備に努めます。また、水道は市民生活における重要なライフラインのひとつであり、経済活動や社会的な活動を支える非常に大切な施設でもあります。今後も市民の皆様に「安心」な水を「安定」して「継続」的に供給できるように努めていきます。
目指すイメージ	●幹線道路や生活道路が整備され円滑な移動と交通の安全が確保されています ●住みやすい住環境が整備され誰もが快適に暮らしています
施策の方向	●快適な居住環境の整備 ●交通の利便性の向上 ●特色ある快適な都市基盤整備

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.154	0.83	17/28	全体平均値： 4.228
満足度	3.039	0.78	18/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値	1.115	—	15/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目



特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりニーズのばらつきがある。地区別で見ると、牛根地区では他の地区よりニーズが高くなっている。
自由意見	●記入件数 26件 / うち課題 8件・要望 11件・提言 7件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：公共交通の充実、公園・道路の整備維持、美化活動等
平成24年度実施分との比較	●重要度はほぼ前回並だが、満足度が上昇しているためにニーズ値が低下しており、成果が見られる。
評価結果	●満足度が上昇し、成果が見られているが、ニーズ値は平均よりわずかに低い値であるため、現状維持または改善を行っていくことが重要となる。

■政策別分析結果

15. 循環型社会の構築

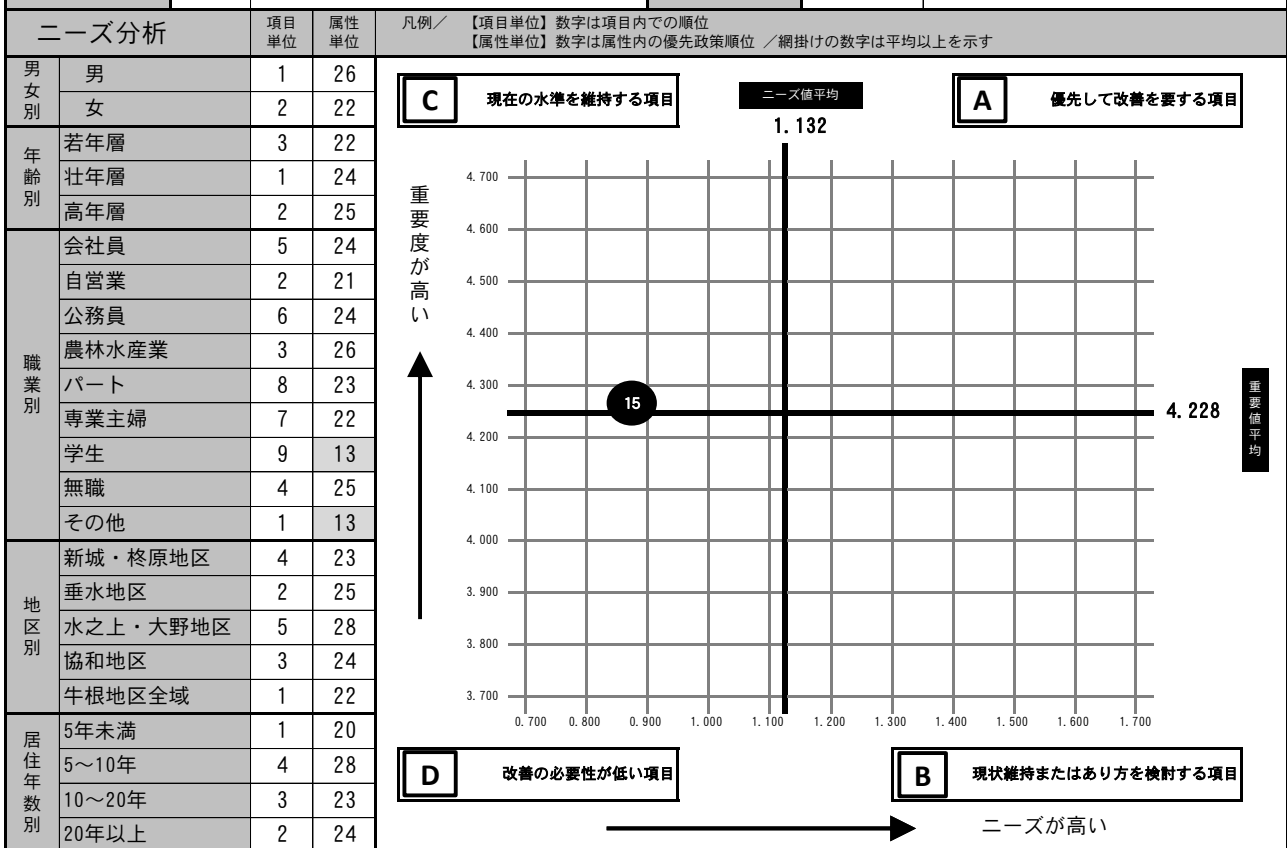
【政策の概要】

目標の考え方	地球規模の温暖化に対して、特に温暖化の最たる要因である温室効果ガス削減が重要な課題です。本市においては、廃棄物の27分別収集や再生可能エネルギーに対する取り組みを進めています。より一層の成果を上げるためにも、地域省エネルギー政策、再生可能エネルギー政策の充実と3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの循環型社会構築に対して、市民総ぐるみで理解を深め、行動していきけるよう取り組みます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内全てでゴミ出しルールが定着し、廃棄物が適正に処理されています</li> <li>●再生可能エネルギーが広く活用されています</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの活用の推進</li> <li>●ゴミの発生抑制</li> <li>●廃棄物適正処理</li> <li>●再資源化の促進</li> <li>●省エネルギーの推進</li> </ul>

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.245	0.78	14/28	全体平均値： 4.228
満足度	3.367	0.82	2/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値	0.878	—	25/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価 | 重要度・満足度とも高い項目 | 評価エリア C | 現在の水準を維持する項目



特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 10件 / うち課題 3件・要望 4件・提言 3件・評価 0件・その他 0件</li> <li>●キーワード：ゴミの分別に関する周知、ゴミの回収方法の改善、河川の寄州除去等</li> </ul>
平成24年度実施分との比較	●満足度の数値、相対順位が上昇し、ニーズ値が低下しており、成果が見られる。
評価結果	●評価エリアがCとなり、成果が表れているため、現在の水準を維持していく必要がある。

■政策別分析結果

16. 環境の保全

【政策の概要】

目標の考え方	次世代へ環境を引き継いでいくために環境美化意識の向上や河川や海の環境保全に努め、水質保全などに取り組みます。また、桜島、錦江湾、高隈山系などの自然景観や田園風景さらには市街地や歴史的町並みなどの景観の保全と創造に向けて、市民や事業者と一体となった垂水の良さを生かした景観形成に取り組みます。	
目指すイメージ	●自然環境が良好な状態で保たれ、次世代に継承されています	
施策の方向	●生活排水処理対策 ●環境美化の推進	●河川、海の浄化の推進 ●景観保全政策

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.247	0.77	13/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.177	0.77	10/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.071	—	16/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	17		
	女	2	16		
年齢別	若年層	3	15		
	壮年層	2	16		
	高年層	1	13		
職業別	会社員	7	18		
	自営業	3	16		
	公務員	8	22		
	農林水産業	1	4		
	パート	9	20		
	専業主婦	6	15		
	学生	5	1		
	無職	4	16		
	その他	2	7		
地区別	新城・柘原地区	5	16		
	垂水地区	4	17		
	水之上・大野地区	2	14		
	協和地区	3	15		
居住年数別	5年未満	2	14		
	5～10年	1	14		
	10～20年	4	21		
	20年以上	3	17		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●年齢別で見ると高年層、職業別で見ると農林水産業、地区別で見ると牛根地区でニーズが高くなっており、居住年数10年未満のニーズも高い傾向にある。				
自由意見	●記入件数 11件／うち課題 2件・要望 8件・提言 1件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：河川の寄州除去・美化の促進、下水道整備、不法投棄の防止、集落清掃への対応				
平成24年度実施分との比較	●重要度、満足度共に低下しているが、ニーズ値の相対順位は変わらず、大きな変化は見られない。				
評価結果	●前回調査時の水準を維持できているが、本市の基本理念の一つであるため、より高い成果が得られるように取り組みを行う必要がある。				

■政策別分析結果

17. 地域資源の活用

【政策の概要】

目標の考え方	豊かな自然環境、景観、温泉、農水産物や歴史、文化など垂水市の持つ優れた地域資源を最大限に活用した観光や産業の振興に取り組みます。また、行政と市民と事業者が一体となって育むブランドの推進及び6次産業化に取り組み、本市の価値を創造し、積極的に広く内外へ情報発信していく取り組みを進めます。
目指すイメージ	●市民一人ひとりが地域資源のすばらしさを認識し、県内外にも垂水が認知されています
施策の方向	●地域資源の保全、管理 ●6次産業化の推進 ●情報発信によるブランド定着

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.140	0.81	19/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.176	0.72	11/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		0.964	—	20/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	20		
	女	2	18		
年齢別	若年層	3	20		
	壮年層	1	18		
	高年層	2	20		
職業別	会社員	7	21		
	自営業	2	17		
	公務員	4	18		
	農林水産業	1	17		
	パート	3	15		
	専業主婦	8	25		
	学生	5	1		
	無職	6	22		
地区別	その他	9	26		
	新城・柁原地区	5	21		
	垂水地区	3	20		
	水之上・大野地区	2	18		
	協和地区	4	20		
居住年数別	牛根地区全域	1	18		
	5年未満	2	23		
	5～10年	1	16		
	10～20年	4	20		
	20年以上	3	20		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●属性によりばらつきがあるが、他政策に比べてニーズが低い傾向にある。			
自由意見		●記入件数 3件／うち課題 1件・要望 1件・提言 1件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：特徴を活かした地域資源活用、6次産業化による地産地消の推進			
平成24年度実施分との比較		●重要度に比べ満足度の低下が大きく、ニーズ値が上昇しており、成果が見られない。			
評価結果		●評価エリアはDとなっているが、本市の基本理念の一つであることを踏まえると、満足度が低下しているために更なる成果を得るような取り組みが必要となる。			

■政策別分析結果

18. 魅力ある農林業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	生産・生活基盤の整備をはじめ、経営の安定や環境にやさしい農業の推進など、特色ある農業の展開を図るとともに、担い手育成に努めます。また、消費者ニーズの把握に努めながら、地域の特性を生かした特産品や加工品の開発を促進するとともに、流通ルートの創出に取り組みます。さらに、特産品直売や地産地消の推進に努めます。林業については、森林と人との共生の観点に立った森林の保全利用を図ります。		
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業経営の安定化が図られ、生きがいを持って農業に従事しています</li> <li>●農林業に関する情報が発信され、農林業に対する関心が深まっています</li> </ul>		
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営の安定化</li> <li>●地産地消の推進</li> <li>●農地利用調整活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手育成対策</li> <li>●ブランド化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基盤整備</li> <li>●消費者ニーズの把握</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.063	0.84	21/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.003	0.65	21/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		1.060	—	17/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	15			
	女	2	17			
年齢別	若年層	3	18			
	壮年層	2	17			
	高年層	1	12			
職業別	会社員	7	19			
	自営業	3	12			
	公務員	2	9			
	農林水産業	1	3			
	パート	5	17			
	専業主婦	8	20			
	学生	9	22			
	無職	4	17			
その他	5	19				
地区別	新城・柁原地区	5	18			
	垂水地区	2	16			
	水之上・大野地区	3	19			
	協和地区	4	19			
	牛根地区全域	1	17			
居住年数別	5年未満	2	20			
	5～10年	3	21			
	10～20年	4	18			
	20年以上	1	16			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりばらつきがあるが、年齢が高いほどニーズが高くなり、また、職業別で見ると農林水産業のニーズが高くなっている。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 6件／うち課題 1件・要望 5件・提言 0件・評価 0件・その他 0件</li> <li>●キーワード：鳥獣害対策の充実、農産物のブランド化・販路拡大、排水・悪臭対策等</li> </ul>					
平成24年度実施分との比較	●重要度が低下し満足度は上昇しているが、ニーズ値の相対順位は変わらず、大きな変化は見られない。					
評価結果	●評価エリアがDであり、大きな変化も見られないが、本市の基幹産業であることを踏まえると、より満足度を上昇させる取り組みを行う必要がある。					

■政策別分析結果

19. 魅力ある水産業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	水産業の振興を図るために、漁業生産の基盤となる漁港・漁場環境の整備を進めます。また、消費者ニーズの把握に努めるとともに、地産地消の推進や水産物のブランド化による新たな販売ルートの確保など、経営安定化と後継者の育成に努めます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水産業経営の安定化と活性化が図られています</li> <li>●水産業に関する情報が発信され、水産業に対する関心が深まっています</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営の安定化</li> <li>●地産地消の推進</li> <li>●消費者ニーズの把握</li> <li>●基盤整備</li> <li>●ブランド化による付加価値の向上</li> <li>●水産物販売施設の整備</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.143	0.83	18/28	全体平均値： 4.228
満足度		3.236	0.73	7/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		0.907	—	22/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	23		
	女	2	23		
年齢別	若年層	3	25		
	壮年層	1	23		
	高年層	2	23		
職業別	会社員	6	23		
	自営業	2	23		
	公務員	3	21		
	農林水産業	1	19		
	パート	5	21		
	専業主婦	7	24		
	学生	9	13		
	無職	4	23		
	その他	8	28		
地区別	新城・柘原地区	5	25		
	垂水地区	3	23		
	水之上・大野地区	4	23		
	協和地区	1	18		
	牛根地区全域	2	23		
居住年数別	5年未満	3	27		
	5～10年	2	25		
	10～20年	4	25		
	20年以上	1	21		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●各属性において、他政策よりニーズが低い傾向にある。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 6件 / うち課題 1件・要望 2件・提言 2件・評価 0件・その他 1件</li> <li>●キーワード：販路拡大、観光客に向けたPR、道の駅等での販売促進</li> </ul>			
平成24年度実施分との比較		●重要度、満足度共に低下しているが、満足度の低下幅が大きく、成果が見られない。			
評価結果		●評価エリアはDであるが、満足度が低下している。本市の基幹産業の発展のため、更なる改善を行う必要がある。			

■政策別分析結果

20. 活気ある商工業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	市民の日常的な利便性の確保を図ることを基本に、垂水にあった商業のあり方やサービスを展開し、多様化・高度化する消費者ニーズに対応できる商業の育成や振興に取り組みます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域のふれあいを大切にした商業の育成により、市民生活の利便性が向上しています</li> <li>●遊び心のある取り組みが進み、まちが活気にあふれています</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商業経営の近代化</li> <li>●安心安全な商品の提供</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.133	0.87	20/28	全体平均値： 4.228	
満足度		2.984	0.81	22/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		1.150	—	12/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	B	現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	8			
	女	2	14			
年齢別	若年層	3	13			
	壮年層	1	13			
	高年層	2	10			
職業別	会社員	7	13			
	自営業	1	9			
	公務員	2	9			
	農林水産業	4	18			
	パート	5	13			
	専業主婦	8	13			
	学生	9	22			
	無職	3	9			
その他	6	14				
地区別	新城・柁原地区	5	17			
	垂水地区	1	11			
	水之上・大野地区	4	11			
	協和地区	2	11			
居住年数別	5年未満	2	13			
	5～10年	1	8			
	10～20年	4	15			
	20年以上	3	10			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりばらつきがあるが、他の政策に比べてニーズが高い傾向にある。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 5件／うち課題 2件・要望 2件・提言 0件・評価 0件・その他 1件</li> <li>●キーワード：商店街の活性化、特産品を取り扱う複合施設の整備</li> </ul>					
平成24年度実施分との比較	●重要度に比べ満足度の低下幅は小さいものの、ニーズ値の相対順位が上昇しており、成果が見られない。					
評価結果	●ニーズ値が上昇しており、評価エリアがBであるため、満足度を高めるためにあり方を検討する必要がある。					

■政策別分析結果

21. 働く環境の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の一次産品を生かした産業創出への支援や時代のニーズに合った創業支援、既存産業の振興に努め、本市の特性を生かした働く人にとって住みやすいまちづくりを進めます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域資源を生かした産業の創業が行われています</li> <li>●多種多様な雇用の場があります</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雇用の確保</li> <li>●既存産業の振興</li> <li>●異業種交流</li> <li>●企業誘致</li> <li>●新たな産業の創出</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
重要度		4.465	0.75	5/28	全体平均値： 4.228		
満足度		2.603	0.87	28/28	全体平均値： 3.096		
ニーズ値		1.862	—	1/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度		
相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	1				
	女	2	1				
年齢別	若年層	2	2				
	壮年層	1	1				
	高年層	3	2				
職業別	会社員	2	1				
	自営業	5	2				
	公務員	1	2				
	農林水産業	6	2				
	パート	3	1				
	専業主婦	7	1				
	学生	9	1				
	無職	8	2				
	その他	4	1				
地区別	新城・柘原地区	5	1				
	垂水地区	3	1				
	水之上・大野地区	1	1				
	協和地区	2	1				
	牛根地区全域	4	2				
居住年数別	5年未満	2	1				
	5～10年	1	2				
	10～20年	4	2				
	20年以上	3	1				
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全ての属性において、全政策中ニーズが1位または2位であり、非常にニーズが高い。						
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記入件数 12件／うち課題 4件・要望 8件・提言 0件・評価 0件・その他 0件</li> <li>●キーワード：人口減少対策、若者が働ける場の確保</li> </ul>						
平成24年度実施分との比較	●満足度が上昇し、一定の成果が見られるものの、全政策中最も相対順位が低く、改善の必要がある。						
評価結果	●満足度が最下位、ニーズ値が1位となっており、最優先で取り組む必要がある。						



■政策別分析結果

22. 魅力ある観光の振興

【政策の概要】

目標の考え方	垂水市の持つ観光拠点の整備開発を進め、年間を通じて市民や観光客が楽しめる魅力ある観光地づくりや観光情報の発信に取り組みます。また、観光推進体制の確立を図り、大隅半島の玄関口という地理的特性を生かした広域観光への取り組みに努めます。
目指すイメージ	●魅力ある観光地として交流人口が増えています
施策の方向	●観光推進体制 ●観光拠点の整備開発 ●観光情報発信 ●ツーリズムの推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.211	0.81	15/28	全体平均値： 4.228	
満足度		3.073	0.83	16/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		1.138	—	14/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	B	現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	8			
	女	2	15			
年齢別	若年層	2	14			
	壮年層	1	11			
	高年層	3	17			
職業別	会社員	4	11			
	自営業	1	10			
	公務員	2	9			
	農林水産業	3	11			
	パート	5	12			
	専業主婦	6	10			
	学生	8	1			
	無職	7	18			
	その他	9	24			
地区別	新城・柁原地区	5	12			
	垂水地区	4	15			
	水之上・大野地区	1	7			
	協和地区	2	12			
	牛根地区全域	3	14			
居住年数別	5年未満	3	18			
	5～10年	1	9			
	10～20年	4	14			
	20年以上	2	11			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全体的にニーズが高い傾向にある。地区別で見ると、水之上・大野地区は他の政策よりニーズが高くなっている。					
自由意見	●記入件数 19件／うち課題 6件・要望 7件・提言 5件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：道路等の観光地周辺環境の整備、広報の強化、リピーターの確保等					
平成24年度実施分との比較	●重要度が低下し、満足度が大きく上昇していることから、成果が見られる。					
評価結果	●評価エリアはBであるが、重要度・ニーズ値共にほぼ平均値となっており、さらに満足度を高めていく必要がある。					

■政策別分析結果

23. 市民参画による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	協働によるまちづくりの実現に向けて、市政の様々な場面で市民の参加と参画機会を十分に提供するとともに、市民と行政や議会との適切な役割分担のもと、相互の信頼関係が構築され、相互に支えあう協働の行政経営に取り組みます。
目指すイメージ	●市民一人ひとりが、市政や議会に関心を持ち、相互の信頼関係が築かれています
施策の方向	●市民参画機会の充実      ●地域振興計画の活用

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		3.767	0.87	28/28	全体平均値： 4.228	
満足度		2.942	0.65	25/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値		0.825	—	26/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】 数字は項目内での順位 【属性単位】 数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	25			
	女	2	27			
年齢別	若年層	3	26			
	壮年層	2	26			
	高年層	1	24			
職業別	会社員	5	27			
	自営業	2	26			
	公務員	8	26			
	農林水産業	1	24			
	パート	6	26			
	専業主婦	7	27			
	学生	9	22			
	無職	3	24			
	その他	4	25			
地区別	新城・柘原地区	2	22			
	垂水地区	1	26			
	水之上・大野地区	3	25			
	協和地区	4	27			
	牛根地区全域	5	28			
居住年数別	5年未満	1	24			
	5～10年	2	24			
	10～20年	4	26			
	20年以上	3	26			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全ての属性においてニーズが低い傾向にある。					
自由意見	●記入件数 2件／うち課題 1件・要望 1件・提言 0件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：選挙に関する啓発の強化、振興会活動の在り方					
平成24年度実施分との比較	●重要度は低下し、満足度が上昇しており、成果が見られる。					
評価結果	●評価エリアがDで、各指標とも低い数値ではあるが、本市基本理念の一つであることから、あり方を検討する必要がある。					

■政策別分析結果

24. 市民の目線による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	市民の目線に立ち、積極的で分かりやすい情報提供をするとともに市民ニーズを的確に把握し、真に必要とされるサービスの提供を行います。
目指すイメージ	●市民と行政の意見交換が活発に行われています
施策の方向	●広報広聴の充実 ●情報公開の推進 ●市民本位のサービス提供

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考			
重要度		3.988	0.88	25/28	全体平均値： 4.228			
満足度		3.020	0.77	20/28	全体平均値： 3.096			
ニーズ値		0.969	—	19/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度			
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す				
男女別	男	1	19					
	女	2	21					
年齢別	若年層	3	21					
	壮年層	1	19					
	高年層	2	19					
職業別	会社員	5	17					
	自営業	2	22					
	公務員	8	27					
	農林水産業	1	21					
	パート	4	18					
	専業主婦	6	21					
	学生	9	13					
	無職	3	19					
	その他	7	27					
地区別	新城・柘原地区	2	15					
	垂水地区	4	21					
	水之上・大野地区	5	21					
	協和地区	1	16					
	牛根地区全域	3	20					
居住年数別	5年未満	2	22					
	5～10年	4	27					
	10～20年	3	16					
	20年以上	1	19					
特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりニーズにばらつきがある。地区別で見ると、新城・柘原地区と協和地区のニーズが高くなっている。							
自由意見	●記入件数 3件／うち課題 2件・要望 1件・提言 0件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：広報誌以外の情報源の充実、小中学校のホームページの充実							
平成24年度実施分との比較	●重要度、満足度共に低下しているが、ニーズ値も低下しており、一定の成果が見られる。							
評価結果	●評価エリアがDであり、一定の成果も見られるものの、満足度が低下しているため、現状維持または改善に努める必要がある。							

■政策別分析結果

25. 市民の期待に応える職員の育成

【政策の概要】

目標の考え方	住民ニーズはますます高度化、多様化しており、価値観やライフスタイルの多様化も顕著になっている現在、時代の変化に適応した新たな行政施策の展開が求められています。徹底した行政改革の推進、健全財政の維持、職員の定員管理についても適正化を進めてきており、最小の経費で最大の効果が上がるよう、さらに効率的な行政運営を進めていく必要があります。そのため、行政の担い手となる職員の意欲や姿勢の改革、職務能力の一層の向上を図り、組織としても積極的に人材育成の取組を強化していきます。
目指すイメージ	●職員一人ひとりが成果やコスト意識を持って業務に取り組んでいます
施策の方向	●人材育成基本方針に基づく職員の育成

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.249	0.89	12/28	全体平均値： 4.228
満足度		2.857	0.94	26/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.391	—	4/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	4		
	女	2	4		
年齢別	若年層	3	6		
	壮年層	1	4		
	高年層	2	3		
職業別	会社員	2	4		
	自営業	1	3		
	公務員	5	9		
	農林水産業	8	16		
	パート	4	6		
	専業主婦	6	4		
	学生	9	1		
	無職	7	3		
その他	3	3			
地区別	新城・柘原地区	5	3		
	垂水地区	4	4		
	水之上・大野地区	3	4		
	協和地区	1	4		
居住年数別	5年未満	4	11		
	5～10年	1	6		
	10～20年	3	4		
	20年以上	2	4		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全体的にニーズが高くなっている。居住年数が長くなる程、他の政策よりニーズが高くなる傾向にある。				
自由意見	●記入件数 13件／うち課題 5件・要望 6件・提言 1件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：市職員数の削減・資質向上				
平成24年度実施分との比較	●重要度は低下し、満足度は上昇して一定の成果が見られるが、満足度の相対順位は依然低く、改善の必要がある。				
評価結果	●満足度が低く、ニーズ値が高い政策であるため、優先して改善を行う必要がある。				

■政策別分析結果

26. 行政改革の推進

【政策の概要】

目標の考え方	地方分権時代において、自治体としての自立と自己責任による行政経営が求められるとともに、市政の運営を担う行政には、将来にわたって、永続的に市民から信頼され、その負託に応えていくという大きな責務が課せられています。このため、行政改革大綱に基づき、「新しい公共」の形成を理念として、持続可能な財政基盤を確立するとともに、徹底した行政改革を推進することにより、市民や地域の力が最大限に発揮できる新しい形の行政経営を進めます。また、真の地方主権の確立に向けた権限の移譲を求め、国・県との対等な関係を構築するとともに、近隣市町との連携のもと広域的な行政課題の解決に取り組みます。
目指すイメージ	●行政改革が進み、新しい公共という形の行政経営が行われています
施策の方向	●定員適正化の推進と民間能力の活用      ●行政を評価する仕組みの構築

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度	3.966	0.90	27/28	全体平均値： 4.228	
満足度	2.975	0.71	24/28	全体平均値： 3.096	
ニーズ値	0.991	—	18/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目

ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／
				【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す
男女別	男	1	18	
	女	2	20	
年齢別	若年層	3	23	
	壮年層	2	21	
	高年層	1	18	
職業別	会社員	7	22	
	自営業	1	14	
	公務員	8	24	
	農林水産業	3	20	
	パート	9	24	
	専業主婦	6	17	
	学生	4	1	
	無職	2	15	
	その他	4	19	
地区別	新城・柘原地区	3	14	
	垂水地区	2	18	
	水之上・大野地区	1	17	
	協和地区	5	22	
	牛根地区全域	4	24	
居住年数別	5年未満	4	26	
	5～10年	2	20	
	10～20年	3	17	
	20年以上	1	18	

特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりニーズにばらつきがある。職業別で見ると、自営業及び無職の属性におけるニーズが高くなっている。
自由意見	●記入件数 5件／うち課題 3件・要望 1件・提言 0件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：職員研修の充実、市政の在り方
平成24年度実施分との比較	●重要度は低下し、満足度が上昇し、ニーズ値の相対順位も大きく低下しており、成果が見られる。
評価結果	●ニーズ値が大きく低下し、評価エリアがDとなった。今後も満足度の維持、上昇に向けて取り組む必要がある。

■政策別分析結果

27. 財政運営の健全化

【政策の概要】

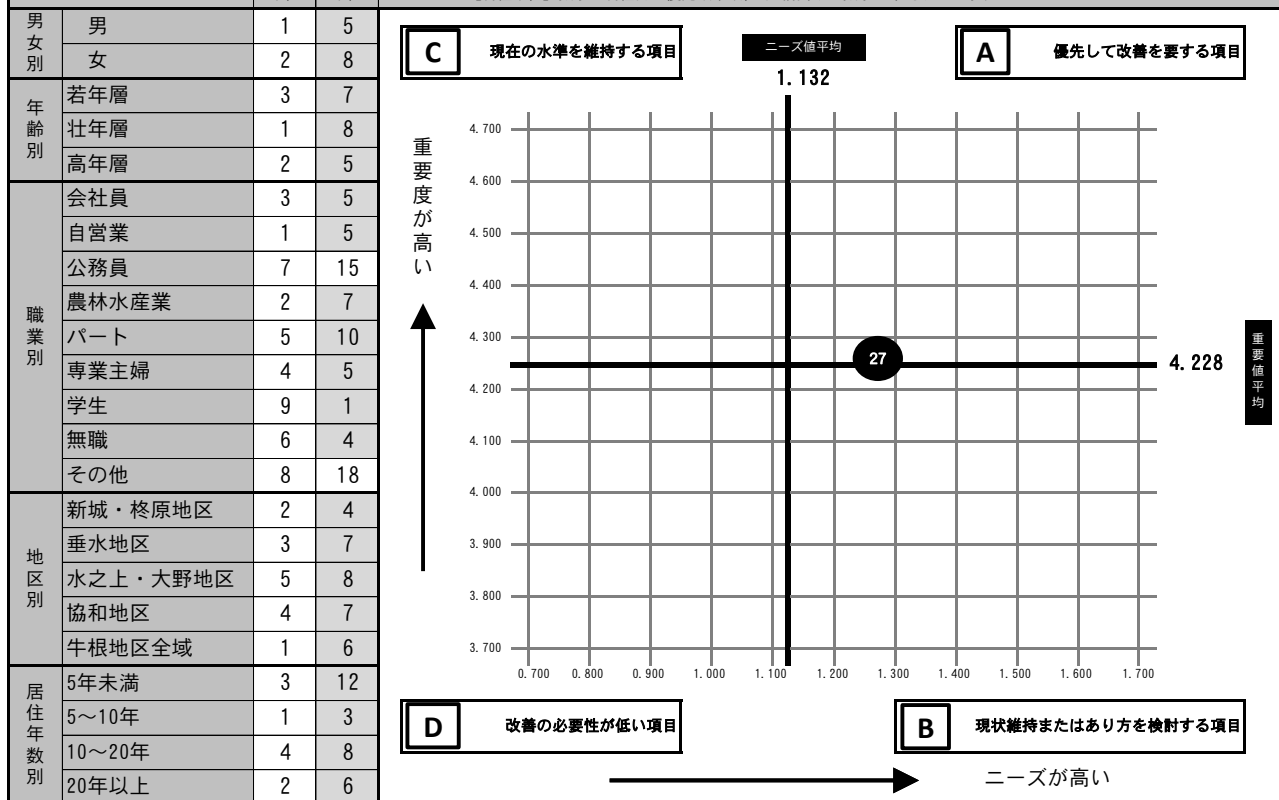
目標の考え方	健全な財政基盤を確立するためには、財政の弾力性を高めると共に、真に必要とされるサービスを選択することが重要です。このため、自らの責任において、財源を確保し、市民の理解度を高めていくという視点で必要とされる公共サービスを常に効果的・効率的かつ安定的に供給できるという持続可能な財政運営に努めます。
目指すイメージ	●持続可能な財政運営が行われています
施策の方向	●財政運営の効率化の推進      ●安定的な財源の確保

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.256	0.84	11/28	全体平均値： 4.228
満足度	2.978	0.76	23/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値	1.278	—	5/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	----	------------------	-------	---	--------------

ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す
-------	------	------	---



特記事項 (ニーズ分析結果)	●全体的にニーズが高くなっている。
自由意見	●記入件数 3件 / うち課題 0件・要望 2件・提言 0件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：健全な行政運営、ふるさと納税の推進、新たな歳入確保
平成24年度実施分との比較	●重要度は低下、満足度が上昇しており一定の成果が見られるが、満足度の相対順位が低く、改善の必要がある。
評価結果	●評価エリアがAとなっており、今後も満足度の上昇につながる取り組みを行っていく必要がある。

■政策別分析結果

28. 重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」

【政策の概要】

目標の考え方	第4次総合計画後期基本計画において、人口減少対策プログラムを重点プロジェクトと位置付け、「住環境整備」や「子育て支援の充実」に取り組み、プログラムの将来ビジョン「魅力ある住みやすいまち垂水市」を目指します。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもを産み育てやすいまちになっています</li> <li>●良好な住環境の整備が促進されています</li> <li>●交通網の整備促進により近隣市との距離がさらに短くなり、就業先、通学先、買い物環境、医療環境など選択肢が広がっています</li> </ul>	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会基盤整備（受け皿づくり）</li> <li>●受け皿への誘導と転出入対策</li> <li>●出産しやすい環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存住宅の活用</li> <li>●若年層の交流促進</li> <li>●子育てしやすい環境づくり</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.512	0.77	3/28	全体平均値： 4.228
満足度		2.720	0.87	27/28	全体平均値： 3.096
ニーズ値		1.793	—	2/28	全体平均値： 1.132 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		II	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	2		
	女	2	2		
年齢別	若年層	1	1		
	壮年層	2	2		
	高年層	3	1		
職業別	会社員	5	2		
	自営業	2	1		
	公務員	1	1		
	農林水産業	3	1		
	パート	6	3		
	専業主婦	8	2		
	学生	9	1		
	無職	7	1		
その他	4	2			
地区別	新城・柁原地区	5	2		
	垂水地区	2	2		
	水之上・大野地区	4	2		
	協和地区	3	2		
	牛根地区全域	1	1		
居住年数別	5年未満	3	3		
	5～10年	1	1		
	10～20年	4	1		
	20年以上	2	2		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●全ての属性において、全政策中ニーズが3位以内であり、非常にニーズが高い。			
自由意見		●全体自由意見の欄に多数意見あり。意見内容は資料集に記載する。			
平成24年度実施分との比較		●今回調査からの新規項目であるため比較不可。			
評価結果		●ニーズ値が非常に高いため、最優先で満足度の上昇に向けた取り組みを行う必要がある。			

### 3. 今後の居住志向

前回の調査に引き続き、設問29に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。

集計結果については、次のとおりである。

#### (1) 回答状況

		5： 思う	4： どちらかといえ ばそう思う	3： どちらとも いえない	2： どちらかといえ ばそう思わない	1： 思わない
回答者数	H26	393 件	186 件	161 件	63 件	29 件
	H24	431 件	192 件	166 件	66 件	33 件
	差	-38	-6	-5	-3	-4
回答割合	H26	47.2%	22.4%	19.4%	7.6%	3.5%
	H24	48.5%	21.6%	18.7%	7.4%	3.7%
	差	-1.3	+0.8	+0.7	+0.2	-0.2

#### (2) 回答者属性別の集計結果

	項目	平均値		
		H26	H24	差
男女別	男	4.08	4.13	-0.05
	女	3.98	3.97	+0.01
年齢別	若年層	3.38	3.61	-0.23
	壮年層	3.84	3.92	-0.08
	高年層	4.32	4.30	+0.02
職業別	会社員	3.85	3.92	-0.07
	自営業	4.07	4.11	-0.04
	公務員	3.86	4.26	-0.40
	農林水産業	4.42	4.46	-0.04
	パート	3.68	3.75	-0.07
	専業主婦(主夫)	4.03	3.98	+0.05
	学生	3.50	4.50	-1.00
	無職	4.24	4.26	-0.02
	その他	4.11	3.75	+0.36

	項目	平均値		
		H26	H24	差
地区別	新城・柁原地区	4.16	4.15	+0.01
	垂水地区	4.10	3.99	+0.11
	水之上・大野地区	3.95	3.84	+0.11
	協和地区	3.81	4.29	-0.48
	牛根地区全域	3.84	4.05	-0.21
居住年数別	5年未満	3.60	3.74	-0.14
	5～10年	3.53	3.45	+0.08
	10～20年	3.65	3.76	-0.11
	20年以上	4.14	4.16	-0.02

全体平均		
H26	H24	差
4.02	4.04	-0.02



(3) 自由意見記入状況

自由意見は、合計494人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。

主な理由	5 思う	4 どちらかと言 えばそう思う	3 どちらとも言 えない	2 どちらかと言 えばそう思わ ない	1 思わない	未記入	合計
生まれ育ったまちだから	58	9	0	0	0	1	68
住みやすい(住み慣れた)	60	11	0	0	0	1	72
ふるさと(先祖・実家)だから	31	14	3	0	0	0	48
自然環境(自然の恵み)が良い	22	10	0	0	0	0	32
垂水市が生活基盤	14	13	0	0	0	0	27
地域の絆(人情)	8	5	1	0	1	0	15
介護・高齢他やむを得ず	14	3	3	0	0	1	21
垂水市が好き	24	4	0	0	0	0	28
今後の人生を豊かに	0	0	0	2	0	0	2
雇用・経済の活性化要望	0	0	4	2	2	0	8
行財政・税金への要望	0	0	6	4	4	0	14
交通・商業環境の充実要望	0	2	10	4	5	0	21
人口減少対策要望	0	0	3	0	0	0	3
医療環境の充実要望	0	0	4	3	0	0	7
安心・元気な垂水への要望	0	0	7	4	2	0	13
介護福祉環境充実への要望	0	0	2	0	0	0	2
教育環境充実への要望	0	0	1	0	0	0	1
住環境充実への要望(降灰)	0	5	8	7	1	0	21
住環境の充実要望(降灰以外)	0	1	1	0	0	0	2
住み続ける理由が見つからない	0	0	3	2	1	0	6
今後住み続けるか分からない	0	3	9	0	0	0	12
その他	31	14	13	6	3	4	71
件数 (比率)	262 (53.04%)	94 (19.03%)	78 (15.79%)	34 (6.88%)	19 (3.85%)	7 (1.42%)	494 (100.00%)
	72.06%		15.79%	10.73%		1.42%	—

#### (4) 評価・分析まとめ

##### ○(1) 回答状況について

「住み続けたいと思う」の割合は前回調査から1.3%低下している。対して「どちらかといえばそう思う」、「どちらともいえない」の割合は上昇している。また、「住み続けたいと思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の割合はほぼ前回並となっている。

##### ○(2) 回答者属性別の集計結果について

回答者属性別の平均値を算出し、前回調査時との比較を行った。

男女別、市年齢別、職業別、居住年数別の項目では、回答件数が少ない属性（公務員、学生）を除き、前回調査時から顕著な変化は見られていない。

地区別の項目を見てみると、垂水地区及び水之上・大野地区は平均値が上昇し、協和地区及び牛根地区では平均値が減少していることが分かる。

また、回答者全体の平均を前回調査時と比較すると、わずかではあるが平均値が減少している。

##### ○(3) 自由意見記入状況

記入された意見の主なものを掲載している。自由意見については、意見の原文を、別途「平成26年度市民満足度調査結果報告書 資料集」に掲載する。

##### ○まとめ

回答結果のうち「住み続けたいと思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合は、全体の約7割を占めるため、居住志向は高いと言える。

しかし、前述のとおり、「垂水市に住み続けたいと思う」と考える割合が減少しており、全体の平均値も減少していることから、住み続けたいと思わない理由として挙げられたことに対して改善を行い、居住志向を高めていく必要がある。

## 4. 平成26年度市民満足度調査総括

平成26年度の市民満足度調査では、「2. 政策別分析結果」で政策ごとに評価分析を行い、今後の施策推進のための方向性等を示し、「3. 今後の居住志向」では、回答者属性別の分析を行った。

ここでは、総括として、上記の結果から優先し重点化して取り組んでいく政策についてまとめる。

なお、政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

### (1) 調査全般に関する評価

前回調査に引き続き、各振興会長に協力をいただくことで割当法での調査を実施し、今回調査においても配布数の90%を超える回答があった。

しかし、前回調査と比較すると回収率が7%減少しており、特に若年層の回答数が少なくなっている。

このことは、自由意見にも多く挙げられた「調査項目が多く回答が大変」であるということが、原因の一つではないかと考えられる。

今回調査においては、全政策に自由意見を求める従来の方式から、基本目標ごとに自由意見を求める方式に変更したことで負担の軽減を図ったが、今後更なる工夫を講じる必要がある。

### (2) 全体分析における政策評価（平成26年度市民満足度調査分）

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

このニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

#### ◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

	政策名	ニーズ値	重要度の順位／満足度の順位
1	21. 働く環境の充実	1.862	重要度5位／満足度28位
2	重点「人口減少対策プロジェクト」	1.793	重要度3位／満足度27位
3	11. 医療体制の充実	1.548	重要度1位／満足度15位
4	25. 市民の期待に応える職員の育成	1.391	重要度12位／満足度26位
5	27. 財政運営の健全化	1.278	重要度11位／満足度23位
6	04. 子育て支援体制の充実	1.275	重要度8位／満足度12位
7	12. 地域防災対策の推進	1.264	重要度2位／満足度5位
8	10. 障害者保健福祉の推進	1.244	重要度10位／満足度17位
9	05. 学校教育の充実	1.206	重要度4位／満足度4位
10	13. 安心安全な地域社会の構築	1.185	重要度7位／満足度6位

### (3) 平成24年度市民満足度調査との比較

平成24年度調査時との満足度およびニーズ値を視点とした比較により、各政策の成果確認を行った。基本的に「満足度」が増加したものの、もしくは「ニーズ値」が減少したものを成果が確認できたもの、反対に「満足度」が減少したものの、もしくは「ニーズ値」が増加したものは、成果が確認できなかったものとしている。なお、重要度については、成果確認の対象とはしていないが、最終的な評価結果をまとめる上で参考としている。

#### ① 重要度

27政策における重要度の平均値は、平成24年度と比較し0.055ポイント低下した。政策別にみると平均値が上がった政策が2政策、下がった政策は25政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが6政策、下がったものが16政策、変動なしが5政策となった。

重要度の平均値が上昇した政策は次のとおりである。

- ・06. 学びあう社会の構築
- ・13. 安心安全な地域社会の構築

#### ② 満足度

27政策における満足度の平均値は、平成24年度と比較し0.024ポイント上昇した。政策別にみると平均値が上がった政策が17政策、変動なしが1政策、下がった政策が9政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが12政策、下がったものが12政策、変動なしが3政策となった。

満足度の数値が上昇したものと及び低下したものの上位3政策は次のとおりである。

##### 【数値が上昇した政策】

- [1] 25. 市民の期待に応える職員の育成
- [2] 21. 働く環境の充実
- [3] 26. 行政改革の推進

##### 【数値が低下した政策】

- [1] 19. 魅力ある水産業の振興
- [2] 02. 市民の多様な交流と連携の促進
- [3] 17. 地域資源の活用

#### ③ ニーズ値

27政策におけるニーズ値の平均値は、平成24年度と比較し0.079ポイント低下した。政策別にみると平均値が上がった政策が3政策、下がった政策が24政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが7政策、下がったものが12政策、変動なしが8政策となった。

改善された政策（ニーズ値の数値が減少したもの）及び改善が見られない政策（ニーズ値の数値が増加したもの）の上位3政策は次のとおりである。

##### 【改善された政策】

- [1] 26. 行政改革の推進
- [2] 25. 市民の期待に応える職員の育成
- [3] 21. 働く環境の充実

##### 【改善が見られない政策】

- [1] 19. 魅力ある水産業の振興
- [2] 02. 市民の多様な交流と連携の促進
- [3] 17. 地域資源の活用

ただし、改善されたものの上位3政策については、いずれも満足度の相対順位が低く、今後も継続した改善を行っていく必要がある。

#### ④ 相対評価

27政策における相対評価は、前回に比べⅡが1政策増加し、Ⅳが1政策減少した。

#### ⑤ 評価エリア

評価エリアは、前回に比べCが1政策増え、Bが1政策減少した。

(4) 平成24年度市民満足度調査重点化4政策の検証

平成24年度重点化の4政策について、次のとおり検証を行った。

① 4. 子育て支援体制の充実

	重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H26	4.396	8	3.121	12	1.275	6	I	A
H24	4.466	6	3.124	13	1.342	6	I	A
差	-0.070	↓2	-0.003	↑1	-0.067	0		

重点的に取り組む政策として位置づけられているが、満足度がほぼ前回並であることから成果が見られず、更なる改善を行う必要がある。

② 11. 医療体制の充実

	重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H26	4.638	1	3.090	15	1.548	3	II	A
H24	4.663	1	3.113	14	1.550	3	I	A
差	-0.025	0	-0.023	↓1	-0.002	0		

前回に引き続き重要度の相対順位は1位となっているが、満足度の平均値が低下し、相対評価もIからIIとなっており、成果が見られない。満足度向上のために、これまで以上に改善に取り組む必要がある。

③ 21. 働く環境の充実

	重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H26	4.465	5	2.603	28	1.862	1	II	A
H24	4.579	3	2.467	27	2.112	1	II	A
差	-0.114	↓2	0.136	↓1	-0.250	0		

満足度の平均値が上昇しているものの、相対順位は依然最下位のままとっている。また、二一ズ値の相対順位も前回に引き続き1位となっており、引き続き重点的な取り組みが必要である。

④ 25. 市民の期待に応える職員の育成

	重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H26	4.249	12	2.857	26	1.391	4	II	A
H24	4.415	10	2.711	26	1.704	2	II	A
差	-0.166	↓2	0.146	0	-0.313	↓2		

満足度の平均値が上昇し、二一ズ値の平均値及び相対順位が低下していることから一定の成果が見られるが、依然二一ズ値の相対順位が高い状況であり、引き続き改善に取り組む必要がある。

(5)重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」について

重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」に関する回答について検証を行った。

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H26	4.512	3	2.720	27	1.793	2	II	A

ニーズ値の平均値が、「21.働く環境の充実」に次いで2番目に高くなっている。また、自由意見の中でも人口減少対策に関するものが多く見られ、市民の関心及びニーズの高さがうかがえる。

この調査項目は、今回からの新規項目であるため前回との比較を行うことはできないが、評価エリアがAとなっており、本市の最重要課題と位置付けられていることから、最優先で取組みを進めていく必要がある。

(6)まとめ～平成26年度市民満足度調査から見える優先し重点化して取り組む政策～

これらの結果から、第4次垂水市総合計画後期基本構想「施策の大綱」に掲げた基本目標ごとに優先し取り組む政策をニーズ値の高い順に2政策ずつ掲げ、また、全体として特に重点化し取り組むべき政策を掲げる。

基本構想「施策の大綱」名	基本計画の政策名	重点化
基本目標1 住民による住民のためのまちをつくる	4. 子育て支援体制の充実	◎
	5. 学校教育の充実	
基本目標2 安心して暮らせるまちをつくる	11. 医療体制の充実	◎
	12. 地域防災対策の推進	
基本目標3 環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	20. 活気ある商工業の振興	
	21. 働く環境の充実	◎
基本目標4 市民を大切にすまちをつくる	25. 市民の期待に応える職員の育成	◎
	27. 財政運営の健全化	
重点プロジェクト 人口減少対策プロジェクト		◎